

社会福祉法人東翔会

総合事業訪問介護事業所運営規程

(事業の目的)

第1条 社会福祉法人東翔会が開設するサンフレンズ指定訪問介護事業所（以下「事業所」という。）が行う指定訪問介護の事業（以下「事業」という。）の適切な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の介護福祉士または訪問介護職員研修の修了者（以下「訪問介護員等」という。）が、要介護状態または要支援状態にある高齢者に対し、適正な指定訪問介護を提供することを目的とする。

(運営方針)

- 第2条 事業所の訪問介護員等は、要介護者等心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。
- 2 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

(事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- 一 名称 ヘルパーステーションサンフレンズ
- 二 所在地 大牟田市沖田町510番地

(従業者の職種、員数及び職務内容)

第4条 事業所に勤務する従業者の職種、員数及び職務内容は次のとおりとする。

- 一 管理者は、1名とし、同一敷地内における他事業所と兼務する。
管理者は、利用者へのサービス提供の場面で生じる事象を把握しながら従業者及び業務管理・指揮命令を一元的に行う。
管理者はその責務を果たせる場合、同一敷地内の他事業所・施設でなくても差し支えない。
- 二 サービス提供責任者は、介護福祉士またはホームヘルパー1級課程修了者常勤2名以上とし、基準に定める員数を配置（訪問介護員等を兼務）する。
サービス提供責任者は、事業者に対する指定訪問介護の利用の申込に係る調整、訪問介護員等に対する技術指導、訪問介護計画の作成等を行う。
- 三 訪問介護員等は、8名（必要に応じて増減する）とする。
訪問介護員は、指定訪問介護及び介護予防訪問介護の提供に当たる。

(営業日及び営業時間)

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- 一 営業日 通常日曜日から翌週の月曜日までの毎日とする。
- 二 営業時間 午前8時30分から午後5時30分までとする。
- 三 電話等により、24時間常時連絡が可能な体制とする。

(訪問介護の内容及び利用料等)

第6条 指定訪問介護の内容は次のとおりとし、指定訪問介護を提供した場合の利用料

の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとし、当該指定訪問介護が法定代理受領サービスであるときは、その1割、2割、3割の額とする。(厚生労働大臣が定める基準「介護報酬告示」は、事業所の見やすい場所に掲示する。)

一 身体介護(入浴介助、身体の清拭・洗髪、食事の介助)

二 家事援助(調理、衣類の洗濯・補修、居住等の掃除・整理整頓)

2 第11条に定める通常の事業の実施地域を越えて行う指定訪問介護及び介護予防訪問介護に要した交通費は、その実費を徴収することとし、次の額とする。

(1) 実施地域以外から片道 5 Km 以上 10 Km 未満 500円

(2) 実施地域以外から片道 10 Km 以上 1,000円

3 前項の費用については、利用者またはその家族に対して事前に文書で説明をした上で、支払に同意する旨の文書に署名(記名押印)を受けることとする。

(緊急時における対応方法)

第7条 訪問介護員等は、指定訪問介護を実施中に、利用者の病状に急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治医に連絡する等の措置を講じるとともに、管理者に報告しなければならない。

(業務継続計画の策定)

第8条 事業所は感染症や非常災害の発生時においてサービスの提供を継続的に実施するための業務継続計画の策定をし、計画に従い必要な措置を講じる。

(高齢者虐待防止の推進)

第9条 事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するための措置を講じる。

(身体的拘束等の適正化)

第10条 事業所は利用者または他の利用者等の生命・身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き身体的拘束等を行ってはならない。

身体的拘束等を行う場合にはその態様及び時間その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録しなければならない。

(通常の事業の実施地域)

第11条 通常の事業の実施地域は、大牟田市の区域とする。

(その他運営についての留意事項)

第12条 訪問介護及び介護予防訪問介護事業所は、訪問介護員等の質的向上を図るため研修を行う。

一 採用時研修 採用後 1ヶ月以内

二 継続研修 年 2回

2 従業者は業務上知り得た利用者またはその家族の秘密は守らなければならない。

3 従業者であった者が、業務上知り得た利用者またはその家族の秘密については、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密について遵守する旨を雇用契約に規定するものとする。

4 事業所は、利用者の人権の擁護・虐待等防止のための従業者に対する研修の実施と苦情処理体制の整備を行い、虐待防止の為に必要な措置をするものとする。また、サービス提供中に当該事業所従業者又は擁護者による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかにこれを大牟田市に通報するものとする。

- 5 訪問介護の提供に係る利用者及びその家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するために必要な措置を講じるものとする。事業所は、大牟田市及び国民健康保険団体連合が行う調査に協力するとともに指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行うものとする。
- 6 事業所は、利用者やその家族等から受けるハラスメントに対して就業環境が害されることを防止するための方針を明確化等し必要な措置を講ずるとともにその周知、啓発をするものとする。
- 7 事業所は訪問介護に関する諸記録を整備し、その完結の日から最低 5 年間は保存するものとする。
- 8 この規程に定める事項の外、運営に関する重要事項は、社会福祉法人東翔会と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
この規程は、平成 14 年 8 月 1 日から施行する。
この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
この規程は、平成 24 年 3 月 1 日から施行する。
この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
この規程は、令和元年 10 月 1 日から施行する。
この規程は、令和 4 年 9 月 1 日から施行する。
この規程は、令和 5 年 10 月 1 日から施行する。
この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

利用料金

(1) 利用料

介護保険からの給付サービスを利用する場合の自己負担額は、原則として基本料金（料金表）の1割、2割、3割です。ただし、介護保険の給付の範囲を超えたサービス利用は全額自己負担となります。

【 料金表 ー基本料金・昼間ー 】

	20分未満	20分～ 30分未満	30分～ 1時間未満	1時間～ 1時間30分未満	1時間30分以上 (30分増すごとに)
身体介護	<u>1,660 円</u>	<u>2,490 円</u>	<u>3,950 円</u>	<u>5,770 円</u>	<u>5,870 円</u> に 830 円追加

	20分～45分未満	45分～60分未満
生活援助	<u>1,820 円</u>	<u>2,240 円</u>

身体介護に引き続き生活援助を行う場合は、20分以上～25分ごとに660円追加となります。

* 初回加算 (200単位 / 月)

初回サービス提供月にサービス提供責任者が訪問介護を実施した場合または、訪問介護員に同行した場合に加算となります。

* 緊急時訪問介護加算 (100単位 / 回)

利用者や家族等からの要請を受けて、サービス提供責任者が介護支援専門員と連携を図り、介護支援専門員が必要と認めた時に、サービス提供責任者又はその他の訪問介護員が、居宅サービスにない訪問介護（身体介護）を行った場合。
訪問介護（身体介護）を行った場合。

* 特定事業所加算 (Ⅱ) 所定単位数の10%を加算

但し、体制要件を満たさなくなった場合は加算されません。

* 生活機能向上連携加算 (100単位/月)

訪問介護事業所のサービス提供責任者とリハビリテーション専門職が同時に利用者宅

を訪問し両者の共同による訪問介護計画を作成した時に加算となります。

- * 介護職員処遇改善加算（Ⅰ） 13.7%
- * 特定処遇改善加算（Ⅰ） 6.3%
- * 基本料金に対して、早朝（午前 6 時～午前 8 時）夜間（午後 6 時～午後 10 時）の利用は基本料金の 25%増し、深夜（午後 10 時～午前 6 時）は 50%増しとなります。
- * やむを得ない事情で、かつ、利用者の同意を得て、2 人で訪問した場合は、2 人分の料金となります。

（2）キャンセル料

突然のキャンセルの場合は、下記の料金を頂きます。キャンセルが必要となった場合は、至急ご連絡ください。

（連絡先 電話 0944-43-1223）

ご利用日の前日午後 5:00 までにご連絡いただいた場合	無料
ご利用日の前日午後 5:00 までにご連絡がなかった場合	当該基本料金の 10%